

令和3年度
成田市中学生議会
会議録

令和3年8月18日（水）開会

成田市
成田市教育委員会

目 次

●質問一覧（発言順）	．．．．． 2
●議事日程	．．．．． 3
●出席した中学生議員	．．．．． 4
●職務のため出席した中学生議会事務局職員	．．．．． 4
●説明のために出席したもの	．．．．． 4
●開会および開議の宣言	．．．．． 6
●議長選挙	．．．．． 6
●市長あいさつ	．．．．． 8
●議席の指定	．．．．． 9
●会議録署名議員の指名	．．．．． 9
●会期の決定	．．．．． 9
●代表質問（各校質疑応答）	．．．．． 10
①玉造中学校	．．．．． 10
②下総みどり学園	．．．．． 14
③久住中学校	．．．．． 17
④成田中学校	．．．．． 20
⑤中台中学校	．．．．． 23
●市長の講評	．．．．． 26
●議会の閉会	．．．．． 27

質問一覧（発言順）

1. 玉 造 中 学 校・・・ 成田市の少子高齢化対策について
2. 下 総 み ど り 学 園・・・ 成田市の再生可能エネルギーに関する施設について
3. 久 住 中 学 校・・・ 伝統的な成田の祭りについて
4. 成 田 中 学 校・・・ 成田市の空き家について
5. 中 台 中 学 校・・・ ごみ問題について

議事日程について

このことについて、下記のとおり定めましたので通知します。

成田市中学生議会議長

記

議事日程第1号

令和3年8月18日午後1時30分開議

第1 議席の指定

第2 会議録署名議員の指名

第3 会期の決定

第4 代表質問

○出席した中学生議員（11名）

うんの しのり 議員 玉造中学校3年生
畔野 汐梨

かとう ひなた 議員 玉造中学校3年生
加藤

ぐんじ はやと 議員 下総みどり学園
郡司 隼 8年生

いいた ゆづき 議員 下総みどり学園
飯田 悠月 8年生

ひめの もも 議員 久住中学校2年生
姫野

やまぐち りさ 議員 久住中学校2年生
山口 莉装

まつうら こまち 議員 成田中学校3年生
松浦 小町

ひらた りお 議員 成田中学校2年生
平田 莉央

みやざき そら 議員 中台中学校2年生
宮崎 颯良

たかはし ゆうき 議員 中台中学校2年生
高橋 侑己

やまき あやか 議員 中台中学校2年生
八巻 文香

○欠席した中学生議員（なし）

○職務のため出席した中学生議会事務局職員

市民協働課長 内 田 啓 子 教育指導課長 廣 田 一 利

市民協働課 多 田 恵 美 子 市民協働課主査 藤 江 達 彦
市民相談室長

市民協働課主任主事 渡 辺 愛 理 教育指導課指導主事 中 村 公 治

議会事務局係長 石 川 達 也 議会事務局副主査 日 改 祐 希

議会事務局副主査 熊 谷 陽 香 議会事務局主任主事 齋 藤 和 輝

○説明のため出席した者

成 田 市 長 小 泉 一 成 副 市 長 関 根 賢 次

教 育 長 関 川 義 雄 企画政策部長 木 下 敬

総 務 部 長 清 水 活 次 財 政 部 長 石 毛 直 樹

シティプロモーション
部 長

野 村 吉 男

市民生活部長

谷 平 裕 美

環 境 部 長

宮 本 和 人

福 祉 部 長

米 本 文 雄

土 木 部 長

川崎 伸一郎

都 市 部 長

岡 田 康 裕

教 育 部 長

堀 越 正 宏

秘 書 課 長

菅 谷 友 則

◎開会および開議の宣言

○臨時議長（市民協働課長） 本日、司会を務めさせていただきます、市民協働課長の内田と申します。議長が選出されるまでの間、私が臨時にその職務を行いますので、よろしくお願いいたします。

今議会においては、新型コロナウイルス感染症に関する対応としまして、出席者は必ずマスクを着用し、飛沫飛散防止パネルが設置された演壇等を除き、発言はマスクを着用したままで行うこと、演壇以外での発言は着席のままで行うこと、議場の扉を開け換気を十分に行うこと、会議の定足数に留意したうえで、必要に応じ、議事における出席議員を調整すること、執行部職員の出席を必要最小限とすることなどにより、集団感染の発生防止や感染リスクの軽減などに配慮した議会運営を行いますのでご了承願います。

◎議長選挙

○臨時議長（市民協働課長） これより、議長の選挙を行います。議場の閉鎖を命じます。

〔議場閉鎖〕

ただいまの出席議員数は 11 名です。投票用紙を配付いたします。

〔投票用紙配付〕

配付漏れはありませんか。配付漏れなしと認めます。

投票箱をあらためさせます。

〔投票箱点検〕

異状なしと認めます。念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載のうえ、点呼に応じて順次投票を願います。点呼を命じます。

〔点呼〕

〔投票〕

投票漏れはありませんか。

投票漏れなしと認めます。投票を終了いたします。議場の閉鎖を解きます。

〔議場開場〕

これより開票を行います。立会人に玉造中学校、加藤ひなた議員、下総みどり学園、飯田悠月議員を指名いたします。両議員の立ち会いをお願いします。

〔開票〕

選挙の結果を報告いたします。

投票総数 11 票、これは先ほどの出席議員数に符合しております。

そのうち有効投票 11 票

無効投票 0 票

有効投票中 中台中学校 八巻 文香 議員 11 票

以上のとおりであります。

よって、中台中学校、八巻文香議員が議長に当選されました。当選されました八巻議員が議場におられますので、本席より当選の告知をいたします。

以上をもちまして、私の職務は終了いたしました。ご協力ありがとうございました。ここで議長と交代いたします。八巻議長は、議長席にお着き願います。

〔新議長着席〕

(午後 1 時 38 分)

○議長（八巻文香議員） 私は、本日の議長を努めさせていただきます中台中学校 2 年の八巻文香です。中学生議会の円滑な議事進行に、皆さまのご協力をお願いいたします。

本日の出席議員数は、11 名であります。定足数に達しておりますので、これより「令和 3 年度 成田市中学生議会」を開会いたします。

(午後 1 時 39 分)

◎市長あいさつ

○議長（八巻文香議員） 議事に入る前に、小泉市長のあいさつをお願いいたします。

小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 本日ここに、「令和３年度 成田市中学生議会」を招集したところ、夏休み期間中にも関わらず、中学生議員の皆さんがご出席いただきましたことを感謝申し上げます。

先日、閉会いたしました東京オリンピックでは、本市においては、金メダルを獲得しましたカナダ女子サッカーチーム、あるいはオランダの男子３人制バスケットボールチーム、また、オーストラリアやスロベニアの陸上チーム、４か国が事前合宿を行いました。

そして、すでに皆さんご存じかと思いますが、成田市出身の橋本大輝選手が、男子体操において、団体では銀メダル、そして個人総合と種目別の鉄棒で金メダル２個という３つのメダルを獲得し、また女子ボクシングの並木月海選手は銅メダルを獲得いたしました。この２人の選手に、我々は大変な感動と夢と希望をいただきました。

また、スケートボードでは西矢柊選手が、皆さんと同じ中学生でみごと金メダルを獲得し、この２０２０東京オリンピックでは、１０代の選手の活躍が非常に印象的な大会でもあったと思います。

さて、今回で１７回目を迎えます中学生議会では、開かれた市政の一環として中学生の皆さんから直接、市政に対する意見や要望をいただき、今後の市政運営に反映していくため開催しております。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、今年は、参加校を５校と、約半分にし、１１名の中学生議員の皆さんにお集まりいただきました。

中学生議員の皆さんの顔を拝見いたしますと、これから中学生議会に臨むという意気込みと熱意を感じます。そして、この広い議場で、大変緊張するかもしれません。将来の成田市、日本を担う若い皆さんからの要望や若い感性から出された意見をお伺いしますので、ぜひ自信をもって発言していただきたいと思います。

そして、この市議会の議場、まさに市民から選ばれた議員と私たち執行部が議論を交わす民主主義の象徴の場でもあります。この中学生議会の経験を通じて、市政をより身近なものに感じていただき、社会への関心や参画意識を高めてもらう機会になってもらえば幸いに存じます。

結びに、本日の中学生議会が、皆さんにとりまして、実り多いものとなりますことを願
い、私からの開会の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

(午後 1 時 44 分)

◎議席の指定

○議長（八巻文香議員） これより、議事に入ります。

日程第 1、議席の指定を行います。各議員の議席は、ただ今ご着席の議席を指定いたし
ます。

(午後 1 時 44 分)

◎会議録署名議員の指名

○議長（八巻文香議員） 次に、日程第 2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、下総みどり学園、郡司隼議員、久住中学校、姫野もも議員、以上 2
名を指名いたします。

(午後 1 時 44 分)

◎会期の決定

○議長（八巻文香議員） 次に、日程第 3、会期の決定を議題といたします。お諮りいた
します。今議会の会期は、本日 1 日としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

〔各議員より「異議なし」の発声あり〕

○議長（八巻文香議員） ご異議なしと認めます。よって今議会の会期は、本日 1 日とす
ることに決定いたしました。

(午後 1 時 45 分)

◎代表質問（各校質疑応答）

○議長（八巻文香議員） 次に、日程第 4、各中学校からの代表質問を行います。

●玉造中学校

○議長（八巻文香議員） 初めに、玉造中学校、畔野汐梨議員、並びに加藤ひなた議員。

〔玉造中学校 議員 2 名 登壇〕

○畔野汐梨議員 私は、玉造中学校 3 年の畔野汐梨です。

成田市の少子高齢化と公共交通機関についてお伺いします。

私は社会の授業で、日本の少子高齢化が進んでいることを学びました。成田市も例外ではありません。10 年前に比べ、成田市の 65 歳以上の高齢者の占める割合は、17.5%から 23.7%に増加、また、14 歳以下の子どもは 14.5%から 12.8%に減少しています。

そこで、若い世代や高齢者が住みやすい環境を作るために、公共交通機関を利用しやすくすることが必要だと考えました。私はバスを利用していますが、私の周りでは、利用している人が少ないです。その理由としては運賃が高かったり、便数が少なかったりなど使いづらい面があるということが挙げられます。そのために、成田市では車での移動が当たり前になっているように感じます。

また、高齢者に関しても同様に車移動が多いのではないのでしょうか。全国で増えている高齢者の自動車事故削減の面からも、バス利用を促進するべきだと考えます。バスの利用者を増やすことが運賃や便数の問題の解決になり、高齢者の外出支援や社会参加の促進、また、若い世代の人口増加や子育て支援につながっていくのではないのでしょうか。市としての見解をお聞かせください。

○議長（八巻文香議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 畔野汐梨議員の幅広い世代のバス利用促進についてのご質問にお答えいたします。

全国における路線バス利用者は、自家用車の普及や少子高齢化などにより減少が続いて

おり、本市においても例外ではありません。利用者の減少により減便や廃線となった路線もあり、さらには乗務員の高齢化なども全国的な問題となっているため、市民の誰もが円滑に移動できるような施策や移動手段を確保していくことが公共交通に課せられた大きな使命であると考えています。

このような中、本市では、持続可能な公共交通の再構築に加え、本市にとって望ましい公共交通のあり方や方向性を示す、「成田市地域公共交通計画」の策定を進めております。

本計画では、成田駅周辺の市街地と郊外部との交通利便性の向上を図るための検討をはじめ、医療、商業、公共施設などを周遊可能な循環型バスの運行、コミュニティバス・オンデマンド交通の効率的な運行、バス停などバス待ち環境の改善や機能の充実、さらには2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、環境に配慮した脱炭素化に向けた公共交通の構築を推進するなど、21の交通施策の実施について掲げております。

その中では、バスの乗り方教室や民間企業とタイアップした乗車券の企画、買い物バスツアーなど、公共交通の利用を促す取り組みの実施を検討しております。今後、これらの施策が実施された際は、中学生議員の皆様にも参加していただけますよう、お願い申し上げます。

なお、路線バスを取り巻く環境は、昨年度からのコロナ禍でさらに厳しいものとなっていることから、本市では、「広報なりた」において、路線バスの特集記事を掲載いたしました。この特集では、路線バスの厳しい現状、バスを利用するメリット、感染症対策を徹底していることなどを掲載するとともに、成田市内を走る路線バスの利用を呼びかけたところであります。バスを積極的に利用することには、今後、超高齢社会を迎えるにあたっての安全な移動、交通渋滞の緩和、二酸化炭素排出量の削減など、多くのメリットがあります。しかしながら、利用者が少なく採算が取れない状態が続くと、路線バス事業者は、減便や廃線を検討しなければなりません。路線バスなどの公共交通機関は、一度廃線になってしまいますと、改めて復活させることは困難であり、コミュニティバスで同等の本数を確保することも難しいことから、今後も、地域にとって欠かせない公共交通を存続させるために、引き続き、バス利用の促進に努めてまいります。

○議長（八巻文香議員） 玉造中学校、加藤議員。

〔玉造中学校 加藤議員 質問席で発言〕

○加藤ひなた議員 玉造中学校 3 年加藤ひなたです。ご答弁ありがとうございました。

私は、成田市へ 3 つの提案をします。

1 つ目は、公共交通機関専用のパスポートの発行です。例えば、今、チーパスが子育て応援パスポートとして普及しています。私や私の家族も利用しているのですが、とても便利で助かっています。成田市でも、高齢者や学生向けのバス、電車利用専用のパスポートなどを発行できれば、公共交通機関のさらなる活用が可能になると思います。

2 つ目に、「誰もが利用しやすい」という視点から見ると、全てのバスに乗降口のステップを低くしたり、車いす用のスロープを設置したりする必要があると思います。身体の不自由な人や高齢者にとって、公共交通機関がぐっと身近になると思います。

3 つ目に、普段利用している中で、成田湯川駅の利用料金が高いと感じています。私は小学生の時、夏休みの課題の統計グラフの調査で湯川駅に立ち、インタビューを行いました。その中でも「周辺駅に比べ利用料金が高い」という声が多くありました。調べてみると、湯川駅は京成電鉄の中で利用者数が、69 駅中 67 番目というデータがありました。利用料金の高さが、利用者数が少ない一因となっているのではないのでしょうか。料金の減額をご検討いただきたいです。

以上 3 点について、市の考えをお聞かせ願います。

○議長（八巻文香議員） 谷平市民生活部長。

〔市民生活部長 谷平裕美 自席で発言〕

○市民生活部長（谷平裕美） 加藤ひなた議員の公共交通機関のさらなる活用への取り組みについてのご質問にお答えいたします。

まず、公共交通機関専用のパスポートの発行についてであります。バスや地下鉄、鉄道などの交通機関が発達している都市部などにおいては、高齢者が自由に乗降できるパスポートが運用されている事例も見られます。一方で、それらの事例と本市では、民間路線バスの本数や、鉄道の整備状況などに差があり、市内においても、駅周辺の市街地と郊外

部では地域差が見られるため、導入するためには多方面での調整が必要となります。

先ほど市長が答弁しましたとおり、現在本市では、市民の生活利便性を確保する持続可能な地域公共交通の構築を目指して、「成田市地域公共交通計画」の策定を行っており、様々な施策の実施を検討しているところでありますので、いただいたご意見も参考にして、どのような施策が有効であるかについて、引き続き協議してまいります。

次に、誰もが乗り降りしやすいバスについてであります。本市では、コミュニティバスの全ルートで、段差をなくすためのスロープを設置することができるノンステップバスを配備しております。また、民間路線バス事業者も、ノンステップバス化を進めているところでありますが、全路線での配備には至っていないことから、事業者に対して、導入経費の一部について補助金を交付し、路線バスのバリアフリー化促進にも取り組んでおります。

○議長（八巻文香議員） 木下企画政策部長。

〔企画政策部長 木下敬 自席で発言〕

○企画政策部長（木下敬） 成田湯川駅の鉄道利用料金の減額の検討についてのご質問にお答えいたします。

成田湯川駅は、平成 22 年 7 月に成田空港へのアクセス鉄道として開業した成田スカイアクセス線の駅であり、同駅から空港第 2 ビル駅までの所要時間は 6 分、運賃は 530 円です。一方で、市内に所在する JR 成田駅につきましては、空港第 2 ビル駅までの所要時間が 9 分で 200 円、京成成田駅につきましては、空港第 2 ビル駅までの所要時間が 6 分で 270 円となっており、一番安い JR 線と比較すると 330 円の開きがあります。

鉄道の運賃につきましては、国が認可した限度額の範囲内で、鉄道事業者が鉄道施設の建設費や線路使用料、さらには利用者数や採算性を考慮しながら決定しているところでありますが、利用者の皆様の利便性の向上の観点から、運賃の見直しについて、鉄道事業者へ要望してまいります。

○議長（八巻文香議員） 玉造中学校、加藤議員。

〔玉造中学校 加藤議員 質問席で発言〕

○加藤ひなた議員 ご答弁ありがとうございました。

今、答えを聞いて、私が日常の中で思っていたことが、たくさんの人の考えの上で決まっていることだということがわかりました。

また、私は 2 年半バレーボール部に所属していたのですが、コロナウイルスの影響で、成田市は休校期間が明けても、全部活、朝練ができない状態でした。けれど、このような対策をしっかりとっていただいたおかげで、私たち 3 年生は総体という舞台でプレーすることができました。約 2 年半、打ち込んできた部活動にしっかりと区切りをつけることができ、なにより自分の全力をぶつけることができる総体やコンクール、美術展の重要性を知りました。同時に去年、出場できなかった先輩のことを思い、部活ができることのありがたさに気が付きました。

部活以外も体育祭や修学旅行など一つひとつの行事は、私たちにとってかけがえのない大きな意味を持つと思います。このコロナウイルスの収束がいつになるかはわかりませんが、コロナのせいで、私たちの行事がすべてなくなってしまうのは、とても寂しいです。

これからも、中学生が全力で部活に取り組めて、可能な限り、一度きりしかない中学生行事を楽しめるような対策をぜひお願いします。

これで玉造中学校からの質問を終わります。ありがとうございました。

(午後 2 時 00 分)

●下総みどり学園

○議長（八巻文香議員） 次に、下総みどり学園、郡司隼議員並びに飯田悠月議員。

〔下総みどり学園 議員 2 名 登壇〕

○郡司隼議員 私は、下総みどり学園 8 年の郡司隼です。

成田市の再生可能エネルギーに関する施設について、お伺いします。

私は、学校で SDGs の授業でエネルギーについて調べました。その中で、電力をつくるエネルギーには、燃料を使い温室効果ガスを発生させる化石エネルギーと、燃料を必要と

せず温室効果ガスを発生させない再生可能エネルギーがあると知り、これからは、エコで地球に優しい再生可能エネルギーを多く利用することが、大切であると学びました。

しかし、日本では、化石エネルギーである火力を使った発電が、全ての発電の 80%以上を占めています。そのため、太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーを、さらに多く使わなければならないと考えます。

そこでお伺いします。成田市が管理している再生可能エネルギーを使って発電する施設はどのくらいあり、どのように使っていますか。

○議長（八巻文香議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 郡司隼議員の再生可能エネルギーを利用した施設についてのご質問にお答えいたします。

再生可能エネルギーを利用して発電する施設についてであります。本市では、地球温暖化対策の一つとして、太陽光発電は 23 施設、バイオマス発電は 1 施設の合計 24 施設で行っております。

太陽光発電につきましては、下総みどり学園をはじめとした市内の小中学校や保育園、消防署などに設置しており、最大出力の合計は約 440 キロワットで、発電した電気は各施設で利用し、一部の施設では売電も行っております。

また、バイオマス発電につきましては、成田富里いずみ清掃工場で木の枝や生ごみなど、バイオマスを含むごみを高温で溶かす際に発生する熱エネルギーを利用して、最大 3,000 キロワットの発電を行っており、発電した電気は、清掃工場で使用するとともに、本市、香取市及び民間事業者が共同出資により設立した地域電力会社を通じて、市役所や公民館、公園などで使用しております。

本市では、昨年 11 月に 2050 年までに CO2 排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しており、脱炭素社会の実現に向けて、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの利用は重要であると考えていることから、今後につきましても、さらに利用を推進してまいります。

○議長（八巻文香議員） 下総みどり学園、飯田議員。

〔下総みどり学園 飯田議員 質問席で発言〕

○飯田悠月議員 私は、下総みどり学園 8 年の飯田悠月です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

私は、世界中で行っている SDGs の取り組みで、二酸化炭素の排出を抑える試みが進んでいる中、日本は二酸化炭素を多く排出してしまう火力発電に、発電の多くを依存していると考えます。

そこで、再生可能エネルギーとして注目されている太陽光発電所が、必要であると考えておりますが、市としてどのように考えているのか、お答え願います。

○議長（八巻文香議員） 宮本環境部長。

〔環境部長 宮本和人 自席で発言〕

○環境部長（宮本和人） 飯田悠月議員の太陽光発電所の設置についてのご質問にお答えいたします。

太陽光発電につきましては、本市の公共施設への設置を進めているほか、市民の皆様が住宅に設置した際の補助を実施することにより再生可能エネルギー利用の推進を図っており、補助を開始した平成 21 年度から令和 2 年度までの 12 年間に、延べ 2,163 件、合計最大出力約 10 メガワットの太陽光発電が整備されております。これは、発電規模としてもメガソーラーと呼ばれる大規模な太陽光発電所に匹敵します。また、このことにより削減される二酸化炭素の量は年間約 5,000 トン CO₂ で、これは、25 メートルプール約 5,000 杯分にあたります。

今後も、住宅への設置費補助を実施することにより、太陽光発電の設置を促進していくほか、本市が新たに整備を行う施設などにおいて、太陽光発電の設置をさらに進めてまいります。

○議長（八巻文香議員） 下総みどり学園、飯田議員。

〔下総みどり学園 飯田議員 質問席で発言〕

○飯田悠月議員 ご答弁ありがとうございます。私は、学年全体で SDGs について調べました。皆、調べるテーマは違いましたが、2030 年に向けて全員が自分でできることをやっというまとめの人が多かったです。

その中でも太陽光発電というのは、私の自宅にもありますけれども、そのようにちよつとずつ二酸化炭素の排出量を抑えていくのが大事だと思いました。ありがとうございました。

(午後 2 時 10 分)

●久住中学校

○議長（八巻文香議員） 次に、久住中学校、姫野もも議員、並びに山口莉裳議員。

〔久住中学校 議員 2 名 登壇〕

○姫野もも議員 私は、久住中学校 2 年の姫野ももです。

成田市が行っている観光に関する事業についてお伺いします。

昨年度に続き、コロナ禍で惜しくも開催中止となってしまいましたが、7 月上旬に 3 日間かけて成田山で行われる祇園祭は、地元にとって一大イベントです。私も、幼い頃から家族や友人たちと出かけ、迫力ある出し物や屋台のにぎやかな雰囲気を味わうのが恒例になっています。

ただ、成田の伝統的な祭りに限らず、近年は、観光地における「オーバーツーリズム」が問題視されています。夕方の報道番組でも、鎌倉や箱根などに国内外問わず、たくさんの人々が押しかけ、足の踏み場もないほどに道路が混雑する様子が特集されています。

そこで、お伺いします。成田市では、このように観光客が集中した場合を想定し、どのような対策をとっているのでしょうか。また、観光客のマナー問題に対する取り組みもお聞かせ願います。以上で、質問を終わります。

○議長（八巻文香議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 姫野もも議員のオーバーツーリズムを背景にした観光客のマナー問題についてのご質問にお答えいたします。

オーバーツーリズムとは、観光客の急増による電車やバスなどの公共交通機関の混雑や道路渋滞、また、ごみのポイ捨てなどのマナー違反により、地域の市民生活や自然環境、景観に影響を及ぼし、結果として旅行者の満足度の低下を招くことであり、日本では「観光公害」と表現されることもあります。議員のご質問にもありましたとおり、鎌倉や箱根のほか、京都や宮古島などでも深刻な問題となっております。

本市におきましては、正月や成田祇園祭など、一時的に周辺の道路渋滞や表参道での混雑が発生している状況であることから、様々な対策により対応しているところです。

まず、例年多くの初詣客が訪れる正月には、観光協会や商工会議所・成田山新勝寺のほか、成田警察署・成田交通安全協会などとの協力体制により、事故の発生防止や、混雑緩和を図り、観光客を安全に誘導するために、案内看板を設置するほか、表参道を含めた周辺 15 か所に、約 350 人の警備員を配置し、交通誘導、雑踏警備などの対策を実施しております。また、今年の正月は、混雑時期を避けた分散参詣を推進するため、成田山新勝寺周辺にライブカメラを設置し、混雑状況を YouTube で配信したほか、テレビやラジオなどでも協力を呼びかけました。

このほかにも、2月・3月の梅まつりや5月・9月のお詣り月、11月の紅葉まつりのほか、各種イベント時には表参道を中心に交通規制を行い、観光客の安全や混雑緩和に努めているところです。

本市においては、観光客増加による、ごみのポイ捨てなどのマナー問題や道路渋滞の深刻化といったオーバーツーリズムと言われる状況には至っておりませんが、イベント開催時に「日本たばこ産業」が中心となり観光客参加型の清掃活動を実施するなど、観光客のマナー向上も、同時に図っております。

今後とも、観光協会や商工会議所などの関係団体と協力・連携を図りながら、安全・安心で選ばれる観光地となるよう、引き続き観光客の受入環境の整備などに努めてまいります。

○議長（八巻文香議員） 久住中学校、山口議員。

〔久住中学校、山口議員 質問席で発言〕

○山口莉裳議員 私は、久住中学校 2 年の山口莉裳です。

ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

私は、日本有数の「国際観光都市」である成田市に住んでいることに誇りをもっています。古い文化を大切にしながらも、常に前を向いて新しいことに挑戦する姿勢は、とても大切なことだと思います。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響のため、様々なことに制限がかかってしまっている現状を心苦しく思いますが、コロナ禍における感染症防止策をしたうえでの祭りの継続について、市はどのようにお考えか、お答えをお願いします。

○議長（八巻文香議員） 野村シティプロモーション部長。

〔シティプロモーション部長 野村吉男 自席で発言〕

○シティプロモーション部長（野村吉男） 山口莉裳議員のコロナ禍における祭りの継続についてのご質問にお答えいたします。

本市には、今年 300 年の節目を迎えた「成田祇園祭」や元禄時代から伝承される「おどり花見」のほか、地域の「おびしゃ」や「かぐら」など、数々の祭りや伝統芸能があります。これらを次の世代にしっかりと受け継いでいくことは、大切な取り組みであると認識しているとともに、これらの地域資源を観光に結び付けることで、本市のさらなる魅力の発信にもつながるものと考えております。

本市といたしましては、地域の活性化や地域経済の発展、さらには伝統芸能の継承のためにも、十分な感染症対策を実施しながら、伝統的な祭りやイベントを継続して開催していくことは重要であると考えております。

○議長（八巻文香議員） 久住中学校、山口議員。

〔久住中学校、山口議員 質問席で発言〕

○山口莉裳議員 ご答弁ありがとうございました。

このような議会に参加したのは初めてでとても緊張しましたが、中学生一人ひとりの意

見に、ちゃんと耳を傾け、ご答弁してくださって嬉しかったです。今回、中学生議会に参加させていただき、礼儀や発言の仕方など勉強になりました。良い経験になりました。

以上で久住中学校からの質問を終わります。ありがとうございました。

(午後 2 時 20 分)

●成田中学校

○議長（八巻文香議員） 次に、成田中学校、平田莉央議員、並びに松浦小町議員。

〔成田中学校 議員 2 名 登壇〕

○平田莉央議員 私は、成田中学校 2 年の平田莉央です。

成田市の空き家問題についてお伺いいたします。

近年、空き家が多くなることで、別の大きなトラブルにつながることで問題視されていると聞きます。例えば、倒壊の危険性があったり、衛生環境が悪くなったりするそうです。

また、街の景観が悪化すること考えられますし、犯罪のリスクも高くなると思います。最近では、私たちの住む地域で、空き家が火事になったこともありました。

これらのことから、空き家を放置していると、様々な問題が発生する恐れがあり、安心して暮らしにくい成田市になってしまうと思います。

そこでお伺いいたします。現在、成田市では、空き家に関する問題を解決し、安心・安全で暮らしやすいまちづくりをするために、具体的にどのような対策を取られているのか、お答え願います。

○議長（八巻文香議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 平田莉央議員の成田市の空き家についてのご質問にお答えいたします。

空き家は、少子高齢化の進展や建物の老朽化など、様々な要因により増えており、環境上や防犯上、近隣住民に悪影響を及ぼすなど、全国的に問題となっております。

本市においても例外ではなく、議員のご質問にもありましたとおり、空き家の増加によ

る街の景観の悪化や、犯罪のリスクの高騰、さらには空き家の火災など、空き家が及ぼす悪影響は本市でも認識をしているところでございます。

しかしながら、空き家は建物の所有者が適切に管理すべきものであり、建物の解体工事や草木の管理などを市が独自の判断で行うことができないことから、空き家の数が思うように減っておりません。

このような状況から、本市では、平成 30 年 3 月に、「成田市空き家等対策計画」を策定し、空き家対策の基本的な方針及び空き家の適切な管理の促進に関する事項などを定めております。

この計画により、市民から空き家に関する苦情や通報があった場合には、空き家の所有者等を調査し、空き家の適切な管理を促進するための情報提供や助言などを行っているところです。さらに、空き家を減少させるための対策として空き家バンクを開設しており、空き家を貸したり売ったりしたいと考えている空き家所有者の方と、空き家を利用したいと考えている方とのマッチングを行い、空き家の利活用を図っております。

また、空き家の適切な管理について周知を図るために、空き家の所有者へ税の通知を送付する際に、封筒及び同封するチラシに啓発する文書を記載しているほか、「広報なりた」や市のホームページにおいても情報提供を行っております。

今後も引き続き、安心・安全で暮らしやすいまちを実現するため、「成田市空き家等対策計画」に基づき、空き家対策の施策を効果的に実施してまいります。

○議長（八巻文香議員） 成田中学校、松浦議員。

〔成田中学校 松浦議員 質問席で発言〕

○松浦小町議員 答弁ありがとうございます。私は、成田中学校 3 年の松浦小町です。

成田市のホームページで、空き家を一般の方の居住用として、売買や賃貸を行う空き家バンクという制度があることを知りました。

そこで提案です。空き家の所有者が空き家を通常の住宅だけではなく、シェアハウスや民泊として、安く貸し出すなどの方法を取り入れると、さらに空き家を有効活用できるのではないかと考えたのですが、市としては、どのようにお考えでしょうか。お答え願いま

す。

○議長（八巻文香議員） 川崎土木部長。

〔土木部長 川崎伸一郎 自席で発言〕

○土木部長（川崎伸一郎） 松浦小町議員の空き家の有効活用についてのご質問にお答えいたします。

本市では、空き家の利活用を促進し、空き家を減少させることを目的に、「成田市空家等対策計画」に基づき、平成 30 年より空き家バンクを開設しております。

空き家バンクは、市内に空き家を所有し、その空き家の貸し出しや、売却したいと考えている方に、物件情報を登録していただき、市のウェブサイトで公開し、市民に限らず遠隔地に居住している方にも、本市における物件情報を提供することで、空き家の利用希望者との橋渡しを市が行うものです。

議員より提案のありました、シェアハウスや民泊として空き家を安く貸し出すなど、学生や観光で訪れた方々への賃貸は、土地や建物の利用方法などに関する法律に則していれば可能ですが、空き家の用途や使用方法については、市で取り決めできるものではなく、空き家の所有者がご自身で判断していただくこととなっております。

このようなことから、今後は、空き家バンクの利用を希望する空き家の所有者に対し、シェアハウスや民泊としての活用も含めた情報提供も行い、空き家の利活用を促進してまいりたいと考えております。

○議長（八巻文香議員） 成田中学校、松浦議員。

〔成田中学校 松浦議員 質問席で発言〕

○松浦小町議員 答弁ありがとうございます。

空き家を有効活用するための情報を広げていくことで空き家問題が減っていくと思います。このような安全への取り組みを継続して行うことで、いまよりもっと安全で暮らしやすい成田市になることを願っています。

私は、以前、田町に住んでいました。周りの家や町内でも、空き家が増えてきています。今日の経験を得て、昔ながらの成田を守っていくために、この問題をきちんと考えていきたい

いと思いました。これで、成田中学校からの質問を終わります。ありがとうございました。

(午後 2 時 28 分)

●中台中学校

○議長（八巻文香議員） 次に、中台中学校、宮崎颯良議員、並びに高橋侑己議員。

〔中台中学校 議員 2 名 登壇〕

○宮崎颯良議員 私は、中台中学校 2 年の宮崎颯良です。

成田市のリサイクル活動についてお伺いいたします。

私たち中台中生は、ペットボトルキャップを家庭から集めるエコキャップ運動という活動をしています。また、成田市でも、ペットボトルの店頭回収や自転車のリサイクルなど、様々なリサイクル活動を行っています。

その中でも、成田市リサイクルプラザで行われている、家具や自転車などを修理し、月 1 回希望者に販売するという活動に興味を持ちました。まだ使えるものを修理して再利用するという精神は、物があふれている現代だからこそ大切にしていかなければならないと考えます。成田市のこれらの活動は、素晴らしいものだと思います。

しかし、私たち中学生の中で、これらの活動を知っている人は多くありません。私は、もっと多くの人に、成田市の活動を知ってもらいたいと考えておりますが、市として今後どのような広報活動を行っていくのかをお答え願います。

○議長（八巻文香議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 宮崎颯良議員の成田市のリサイクル活動についてのご質問にお答えいたします。

まずは、宮崎颯良議員をはじめ中台中学校の生徒の皆様には、エコキャップ運動に取り組んでいただいていることに感謝を申し上げます。リサイクル活動は資源の有効利用を推進するだけでなく、ごみの減量にもつながる、とても大切な活動になります。今後も、リサイクル活動にご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、本市では、廃棄物の中から資源物を回収したり、廃棄物として捨てられたものを再生することにより、リサイクルに対する啓発や学習活動を行う施設として、成田市リサイクルプラザを設置しております。

この成田市リサイクルプラザでは、家具や自転車を再生して販売するほか、年２回のフリーマーケット、また、リサイクル教室として「牛乳パックからはがき作り」や「着物から作務衣作り」なども開催しております。

また、市内の小学４年生が社会科の学習として、成田市リサイクルプラザを見学する際には、廃棄物は正しく分別することで資源となることを説明し、ごみの減量とリサイクルに関心を持っていただけるよう努めております。

さらに、市民の皆様によるリサイクルを推進するため、子ども会や高齢者クラブ、自治会などの団体が、ペットボトルや新聞紙、ビン・カンなどを回収するリサイクル運動に対しましては、回収量に応じて奨励金を交付することでその活動を支援するなど、様々な事業を実施することにより、市民の皆様によりリサイクルに取り組んでいただけるよう努めております。

このような本市におけるリサイクル活動の取り組みについて、どのような広報活動を行っていくのかとのことでありますが、リサイクル活動を推進していくためには、市民の皆様のご協力が必要不可欠でありますことから、引き続き、「広報なりた」や市のホームページへの掲載のほか、産業まつりや消費生活展などのイベントでのPR、また、スマートフォン用ごみ分別アプリ「さんあーる」の通知機能により周知するなど、様々な手段を活用し、市民の皆様へのリサイクルに対する意識啓発を図ってまいります。

○議長（八巻文香議員） 中台中学校、高橋議員。

〔中台中学校 高橋議員 質問席で発言〕

○高橋侑己議員 私は、中台中学校２年高橋侑己です。ご答弁ありがとうございました。質問をつづけます。成田市は、ごみの収集の際に分別を行っておりますが、中には分別がしっかりとできずに、可燃ごみや資源ごみをまとめて捨ててしまう人がいると聞きます。分別の徹底を図るためにも、わかりやすいアナウンスやツールがあると便利だと思います

が、市としての考えをお聞かせください。

○議長（八巻文香議員） 宮本環境部長。

〔環境部長 宮本和人 自席で発言〕

○環境部長（宮本和人） 高橋侑己議員のごみ分別の周知・徹底についてのご質問にお答えいたします。

まず、分別の徹底を図るためのアナウンスにつきましては、本市では「広報なりた」や市のホームページへの掲載のほか、クリーン推進課の職員が地域を訪問して、ごみの分別について説明する「成田知っ得出前講座」、また、地区からの推薦を受け、地域のごみ問題に取り組んでいただいている「成田市廃棄物減量等推進員」の皆様の活動などを通じて、ごみの適正分別についての周知・啓発を行っております。

次に、分別の徹底を図るためのツールにつきましては、その一部を事前にお配りしておりますので、併せてご覧ください。

本市では毎年度、ごみの分別区分や収集日などをまとめた「資源物とごみの分け方・出し方」のパンフレットを市民の皆様にお配りしているほか、ごみの品目別の分別一覧などをまとめた「ごみの分別ガイドブック」の作成、また、スマートフォン用ごみ分別アプリ「さんあーる」において、ごみ収集カレンダーやごみの分別帳を掲載しております。

さらに、可燃ごみに多く混入している、お菓子の箱や包装紙などの雑がみの分別と再資源化の推進を目的として、雑がみ保管袋を作成し、昨年 11 月より公民館など市の施設 20 か所で配布するなどの取り組みも行っております。

今後も、より多くの市民の皆様には正しいごみの分別について、ご理解をいただけるよう周知・徹底に努めてまいります。

○議長（八巻文香議員） 中台学校、高橋議員。

〔中台中学校 高橋議員 自席で起立〕

○高橋侑己議員 ご答弁ありがとうございました。2 つの質問に対するご答弁の中で、市が様々な視点で配慮して、ごみ問題やリサイクル活動に取り組んでいることがわかりました。

温室効果ガスなどの問題や省エネが話題に挙がっている昨今ですが、中学生の私たちでも身近に取り組んでいける活動の中で、ごみの分別やリサイクル活動があると思います。

これからも、学校の活動や地域ボランティアなどに参加し、環境に配慮した活動ができるようになっていきたいと思っています。

本日はありがとうございました。これで中台中学校の質問を終わりにします。

(午後 2 時 39 分)

○議長（八巻文香議員） これで、すべての代表質問が終了しました。

(午後 2 時 39 分)

◎市長の講評

○議長（八巻文香議員） ここで、小泉市長より講評をお願いいたします。小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 中学生議員の皆さん、大変お疲れさまでした。皆さん方の質問に対し、全ての答弁が終了いたしましたので、「講評」を述べさせていただきます。

本日、議員の皆さんからいただいたご質問は、成田市が直面している課題や、安心・安全な市民生活を求めた意見であり、本当に素晴らしい質問であったと思います。

また、堂々と発言されている姿は大変立派で、とても感心いたしました。成田市の未来について、一生懸命に考えてくれているという熱意が伝わり、大変うれしく、心強く思っております。それだけに、私や各部長も全力で答弁させていただきました。

皆さんからいただいた貴重な質問や提言は、今後、私がモットーとしております『住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まち』の実現に向けて大いに反映し、また、今後の成田市の発展のために役立たせていきたいと思っています。

冒頭のあいさつでオリンピックの話をさせていただきましたが、実はもう一つ印象に残っている場面がありました。スケートボード競技に出場した皆さんと同年代の 15 歳の岡本碧優選手です。岡本選手は、このまま競技を終えれば、銅メダルは堅いと思われた場面を、さらに高みを目指して挑戦しました。残念ながら失敗してしまいましたが、この果敢

な挑戦は、スポーツマンシップの極みであったのではないかと思います。また、この岡本選手の果敢な挑戦に対して、他の選手が、人種や国境を越えて、大いに称え切磋琢磨している姿が大変印象に残っているところであります。

そして、中学生議員の皆さん、何事にも果敢に挑戦をして下さい。また、本日の経験が夏休みの良き思い出となるとともに、未来輝くこれからの人生に生かしていただければ幸いに存じます。

羽生結弦選手の言葉を借りたものですが、「一番努力した者が、必ず一番の結果を出せるものではありません。しかし、努力しなければ結果は決して残す事は出来ません。」努力は、いずれ大いに良い経験となるものであるとともに、成功をつかむヒントやきっかけとなるものであります。

結びに、本日は大変お忙しい中、傍聴をしていただきました保護者の皆様方をはじめ、中学生議会に協力していただきました学校関係者の皆様に感謝を申し上げます。そして、中学生議員の皆さんの、今後のさらなる活躍をご期待申し上げ、私からの講評といたします。

本日は、ありがとうございました。

(午後 2 時 44 分)

◎議会の閉会

○議長（八巻文香議員） これをもって、今議会の日程は終了いたしました。

以上をもちまして、「令和 3 年度 成田市中学生議会」を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

(午後 2 時 45 分)
